

教育関係共同利用拠点

知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点
大学教員のキャリア成長を支える日本版SoTLの開発

POP

Professional Development Program

2017年度プログラム

世界水準の大学教育創造を目指して



東北大学
高度教養教育・学生支援機構



Professional Development Program

専門性開発 プログラム

大学教員の役割は、研究・教育・社会サービス・管理運営の全面にわたり、キャリア・ステージによって、求められる能力も異なります。また、大学職員の仕事も定型的な業務だけでなく、課題の分析や企画の構想、マネジメントも求められるようになりつつあります。

私たちは、大学教職員の生涯にわたる能力開発のために、分野別とキャリア対象別にて専門性開発(Professional Development; PD)プログラムを開発・提供しています。

分野別プログラム

高等教育、大学を取り巻く環境は大きく変化しており、大学教職員に必要とされている能力も高度化・多様化しています。様々な能力開発ニーズを充たすべく、セミナーやワークショップを4分野(ゾーン)に分けて提供しています。

ゾーン	カテゴリー/エレメント
高等教育の リテラシー 形成関連 コード: L [Literacy]	高等教育論 [L-01] 高等教育の歴史、大学の理念、大学制度・組織、入試制度、関連法制、国内外の動向など広く高等教育に関する知識・教養に関するもの 大学教員論 [L-02] 大学教員の役割・責務、倫理、キャリア形成など大学教員に関する知識 教育内容・カリキュラム論 [L-03] 教養教育論、カリキュラム論など教授する教育内容の教育論に関するもの 教授技術論 [L-04] 授業の設計、シラバスの書き方、学習と教授の心理学、教育測定の原理と方法、プロジェクトベースラーニングの進め方、論文・レポート執筆の指導など教授技術に関するもの
専門教育での 指導力形成関連 コード: S [Specialty]	学習指導法 [S-01] 専門分野の学習方法の指導法 実験指導法 [S-02] 実験の計画、準備、実施、結果の整理、施設・設備・機器類の使用、危険の防止、倫理的ガイドライン等についての指導法 研究指導法 [S-03] 研究テーマの設定方法、関連文献の検索方法、プレゼンテーションの方法、論文のまとめ方、研究費の申請方法等についての指導法
学生支援力 形成関連 コード: W [Health&Welfare]	学生論 [W-01] 現代学生論、大学生の発達と学習、学生の生活問題、学生理解とカウンセリングなど学生理解と指導に関するもの 学生相談 [W-02] 大学コミュニティへの適応支援の技術、カウンセリングの基礎、コンサルテーションの基礎、グループワークの基礎、人間関係調整法等の指導 キャリア教育 [W-03] 進路選択の支援方法、キャリア形成の支援方法、経済的自立の指導 健康教育 [W-04] 健康な生活習慣形成の指導法、趣味や余暇活用の指導法
マネジメント力 形成関連 コード: M [Management]	組織運営論 [M-01] 大学の管理運営、大学のリーダーシップ論、危機管理 大学人材開発論 [M-02] FD/SD論、教職員開発プログラム作成、キャリア・ステージ論 教育マネジメント [M-03] 質保証、入口管理、カリキュラム・マネジメント、出口管理

●詳しくは東北大学大学教育支援センターウェブページをご覧ください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD>

専門教育指導力育成プログラム

大学は、人類の生み出した知的財産をカリキュラムに反映し、学生が深く理解する教授=学習過程を組み立てることが求められています。本プログラムでは、大学レベルの専門教育指導力のための教授方法の開発と普及に取り組んでいます。

OTP

Discipline-Specific Teaching Program

専門教育指導力育成プログラム

競争力の基盤となる専門教育指導力を獲得する

グローバル時代に最も必要な多文化理解・多言語能力を深めるための語学教育(英語・中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語)の各種研修講座・セミナー、現代社会を読み解く市民のための教養として数理科学教育を進めています。

キャリア対象別プログラム

大学教員のキャリア・ステージに応じて特別に編成したプログラムを中心に、各種セミナーやワークショップの受講を通じて、各ステージで直面する特有の課題を解決する力を養います。博士課程後期学生、ポスドク研究員、新任教員、中堅・リーダー教職員、大学職員、それぞれに特化して提供しています。

PFFP

ジュニア
ファカルティ
プログラム

Preparing Future Faculty Program

大学教員準備プログラム

大学教員をめざすあなたに

博士課程後期の大学院生・ポスドク研究員等を対象に、大学教員に求められる能力や知識を実践的に学び、「将来の大学教員像」について主体的に考える機会を提供するプログラムです。参加者は各種セミナー、ワークショップ、授業参観、他大学の調査訪問等での体験を省察しながら、未来の同僚や経験豊富な教員との対話を通じて、大学教員としての自分の在り方や、教育観の構築に取り組みます。東北大学に限らず、全国の大学から参加者を募っています。

NFP

ジュニア
ファカルティ
プログラム

New Faculty Program

新任教員プログラム

大学のこれからを担うフロントランナーに

大学に勤務する新任教員を対象に、「仕事を理解する」、「基礎知識を得る」、「自己省察力を養う」、「実践力を磨く」、「比較の目を育てる」、「同僚とつながる」、「先達から学ぶ」などをテーマに大学教員として必須の教養を培うプログラムです。経験豊かな先達教員らの授業見学や意見交換、同僚である他の参加者らとの対話を通じて、組織の一員としての大学教員、大学教育全体を考える視野を身につけます。全国の大学から参加者を募集します。

LAO

Leadership for Academic Development
Certificate Program

アカデミック・リーダー

育成プログラム(履修証明プログラム*)

大学改革を担うアカデミック・リーダーに

各大学で教育・研究・学生支援・国際化等の企画や改革に携わる副学長・部局長・学科長・アドミニストレーターといったアカデミック・リーダーを育成することを目的としたプログラムです。各所属機関の改革案を作成し実行していけるアカデミック・リーダーを育成するため、国内一流の講師・アドバイザー陣の下、高等教育に関する高度で体系的な知識・技能を獲得するとともに、国内外の大学の先進的事例を通して実践的に学びます。

*履修証明プログラム:

社会人等を対象に大学の教育・研究資源を活かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムです。目的や内容に応じ総時間数120時間以上で設定され、プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書が交付されます。

SOP

NEW!

Staff Development Program

大学マネジメント力開発プログラム

教育研究と大学運営の高度化を担う教職員に

大学設置基準等の改正(2017年4月施行)により、大学の教育研究等の効果的な運営を図るため、職員のほか教員や執行部をも対象とする新しい「SD」が義務付けられました。本プログラムは、新SDの趣旨を踏まえ、各層の運営責任者、教育研究を担う教員、業務の最前線を支える職員、各々の立場から、教育研究マネジメントを含む大学運営の高度化に取り組む上で共通に必要なとされる重要テーマについて、連続セミナーを開催していきます。



Professional Development Program

2017年度 PDセミナー 開講予定科目一覧

受講にあたって

PDセミナーは4ゾーンに分けて提供しています。また、院生、新任教員、中堅・リーダー教職員、職員のどの層を対象にしているかが分かるようにし、様々な必要性に対応して、計画的に受講しやすいようにしています。これらの区別は大まかな目安であって、縛られる必要はありません。ご自身に必要なセミナーを受講してください。

詳細について

日時等は変更となる場合があります。申込方法、開催場所の詳細は、各セミナーのポスターまたは東北大学大学教育支援センターウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD>

[凡例]

[対象]

No.

タイトル

開催日時

概要

講師

[コード] 対象 推薦度

院生:院生向け

新任:新任教員向け

中堅・リーダー:教職員向け

職員:職員向け

[推薦度]

◎:絶対お薦め

○:押さえておきたい

△:視野を広げる

×:対象外



高等教育の リテラシー形成関連

#1

第26回東北大学高等教育フォーラム

個別大学の入試改革

—東北大学の入試設計を事例として—

5/12(金) 13:00-17:00

大学入試センター試験に代わる新共通テストが平成32年度から開始されます。現在記述式問題の導入などが検討されていますが、新共通テストで個別大学の入試はどのように変わるのでしょうか。独自のAO入試を展開し、入試改革を先導してきた東北大学の入試設計を事例に個別大学の課題と今後の展望を描きます。

倉元直樹(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)

木南敦(京都大学 教授)

阿部淳(秋田県立湯沢高等学校 校長)

清水和弘(福岡大学附属大濠中学校・高等学校 副校長)

山地弘起(大学入試センター 試験・研究副統括官)

[L-01] 院生○ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#2

日本高等教育学会公開シンポジウム

世界的視座から

改めて国立大学法人化を問う

—外部ガバナンスとしての政府統制の変遷—

5/27(土) 15:15-18:15

2004年に国立大学が経験した法人化という制度改革は、当時、大学運営における自律性の増大を意味するといわれました。その後の13年間の変化は、法人化が謳った大学の自律性から政府の直接統制への回帰のようにも見えます。世界的な視座から、改めて法人化とは何であつたかを問い、近年の高等教育政策を評価し、今後の在り方を探ります。

大森不二雄(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)

David D. Dill(サウスカロライナ州立大学チャペルヒル校 教授)

Michael Dobbins

(ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学フランクフルト・アム・マイン 准教授)

William Yat Wai Lo(香港教育大学 助教)

[L-01] 院生○ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員○

#3

「しまった!!」とならないために

—ICT時代の教育で押さえておきたい法—

6/29(木) 14:00-16:00

教育における情報技術の活用は既にごく身近なものになりつつあります。一方で、急速な技術発展により法律と現場との齟齬や想定外の

事項も発生しています。どのような法律があり、どのように解釈したらよいのか、わかりやすい実例や最新のトピックを交えながら学びます。

三石大(東北大学教育情報基盤センター 准教授)

金谷吉成(東北大学法学研究科 講師)

[L-02] 院生○ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#4

PFFP NFP

授業デザインとシラバス作成

8/21(月) 13:30-16:30

シラバスの数ある機能のうちでも、特に授業デザインの小道具としての側面に注目し、1学期(15回)分の授業について、教育目標・教育学習活動・学習成果の把握を構造化することの重要性、ルーブリックによる評価について学びます。

串本剛(東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授)

[L-03,04] 院生○ | 新任◎ | 中堅・リーダー◎ | 職員△

#5

PFFP NFP LAQ

大学生のクリティカルシンキングの育成

9/23(土) 13:00-15:00

クリティカルシンキングは、論理的な思考とリフレクション(省察)の2つの側面があります。事象を多面的に捉え、論理的・科学的に正しい情報に基づいて考え、自分の行動を省察することで、次の行動のための建設的な思考へと結びつきます。こうした思考力を学生に身につけさせるにはどうすればいいのかを考えます。

楠見孝(京都大学 教授)

[L-04/W-01] 院生◎ | 新任◎ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#6

PFFP NFP

授業づくり:準備と運営

9/26(火) 13:00-15:00

学習者が集中し、十分に理解できるような授業をつくるためには何に留意し、どのような準備をして、いかに授業を展開すると良いのでしょうか。本セミナーでは、1回の講義形式の授業を念頭に置き、学習者の認知面・心理面から授業づくりについて学びます。

邑本俊亮(東北大学災害科学国際研究所 教授)

[L-04] 院生○ | 新任◎ | 中堅・リーダー◎ | 職員○

#7

LAQ

日本の高等教育政策

2/17(土) 10:00-12:00

我が国の高等教育は1990年代以降、18歳人口の縮減とグローバル化の進展を背景に多くの課題に直面し続けていますが、実際の高等教育政策は諸課題に対応できているのでしょ

PFFP

NFP

LAQ

SOP

QTP

各キャリア別対象プログラムの一環としても提供されます。

うか。本セミナーでは、日本の高等教育政策に関する歴史的整理を踏まえつつ、現在の動向と今後の課題を読み解きます。

羽田貴史(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)

[L-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

S 専門教育での 指導力形成関連

#8 研究倫理シリーズ 第5回 責任ある研究活動の担い手を育てる — 院生の研究指導と研究倫理 — 7月開催予定

過去の研究不正事件から、初期キャリアで研究規範を身につけた研究者は、PIから不正を示唆されても従わないことが教訓です。責任ある研究活動を行う研究者になるためには、研究指導で責任ある研究活動を行わせることが重要であり、各分野の研究指導のグッド・プラクティスを持ち寄って共有することを目的とします。

[S-03] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#9 専門教育指導力育成プログラム 大学中国語教授法強化講座： 中国語を教える大学教員のための スキルアップコース (海外集中コース/1週間) 9月1日(金)–9日(土)

中国語を教えている大学教員のためのアドバンスなコースです。中国の大学で、中国語教育の理論・方法論、指導の実際、教材について学ぶ大学教員対象プログラムをカスタマイズしました。スキルアップを目指す中堅教員、初めての教壇に立つ教員を全国募集します。

[S-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ×

#10 専門教育指導力育成プログラム 市民的教養としての数理科学教育 後期開催予定

数理科学は、あらゆる学問で活用され、現代社会を生きる教養として不可欠です。諸外国においては、初等教育から高等教育まで数学教育が強化されていますが、日本では数学嫌いが増加してきました。分野を超えて数理科学教育の重要性を共有し、発展の道を探ります。

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#11 専門教育指導力育成プログラム Teaching in English (TiE): Course Design and Classroom Management Teaching to Improve Learning *学内限定 年3回開催予定

英語での授業運営をスムーズに行い、学生により良い学びを提供するための"Secrets"。本ワークショップでは、現在英語を担当する可能性のある教員や大学教員を目指す大学院生の皆さんを対象として、授業の中で使う英語表現を実践的に学びます。

Todd Enslin(東北大学高度教養教育・学生支援機構 講師)

[S-03] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#12 専門教育指導力育成プログラム Classroom Management Techniques for Classes Conducted in English 11/27(月) 15:30-18:00

英語で授業を担当する方を対象として、授業の始め方、学生への指示の出し方など、授業を運営するための英語表現を実践的に学ぶセミナーです。スムーズな授業運営に役立つ英語表現をネイティブ講師がわかりやすく解説します。

Todd Enslin(東北大学高度教養教育・学生支援機構 講師)

Barry Kavanagh(同機構 講師)

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#13 コーチング技能を活用した院生指導 12/12(火) 13:00-16:10

コーチングとは、深い理解とスキルを身につけるために、教師がモデリングに続き、課題を実行している学生にヒントや挑戦を与えたり、動機づけ、励まし、対話を行う活動です。コーチング技術の開発に取り組んできた出江先生らにワークショップ形式で学びます。

出江紳一(東北大学医工学研究科 教授)

倉重知也(株式会社イグニタス 代表取締役)

[S-03] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#14 専門教育指導力育成プログラム Classroom English: Pronunciation 12/15(金) 15:00-17:00

基本的な英語の発音のコツは、大人になってからはなかなか学ぶ機会がありません。本セミナーでは、通じる英語に欠かせないリズムやアクセント、日本人が苦手とする音をとりあげ、ネイティブ講師による実践的な練習を交えて楽しく学びます。

Vincent Scura(東北大学高度教養教育・学生支援機構 講師)

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#15 専門教育指導力育成プログラム 大学ドイツ語教授法強化講座 後期開催予定

近年、ドイツ語学習者の減少が懸念され、効果的な教育方法開発を進め、教育の質を高めていくことが何より求められています。日本の大学には、はじめて教育を担当する若手教員のための訓練の方法論がありません。本ワークショップでは、ドイツ語教育における効果的な授業方法と実践について学びます。

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#16 専門教育指導力育成プログラム 大学スペイン語教授法強化講座 後期開催予定

スペイン語は、母語話者が中国語に次ぎ世界第2位の規模にあり、ラテン・アメリカにおいては主要言語です。日本の大学でも学習者は増えていますが、スペイン語教育の専任教員の不足や、はじめて教育を担当する若手教員のための講座がないなど多くの問題があります。本ワークショップでは、スペイン語教育の現状や効果的な授業方法と実践について学びます。

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#17 専門教育指導力育成プログラム 大学フランス語教授法強化講座 後期開催予定

フランス語は、英語圏に限らない文化・学術を学ぶ上で大きな役割を果たしてきました。しかし、大綱化以降、外国語教育時間が削減され、フランス語学習者の減少が懸念されてきました。フランス語の効果的な教育方法開発を進め、教育の質を高めていくことが何より求められています。本ワークショップでは、フランス語教育における効果的な授業方法と実践について学びます。

[S-01] 院生 ○ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 △

#18

PFFP NFP LAD

学生理解と学生発達

9/23(土) 10:00-12:00

学生は正課内・正課外での諸活動、さらには教職員やピアによる支援活動を通して多様に成長していきますが、近年、学生像が一層多様化し、学生の抱える問題も複雑化しています。こうした状況を総合的に理解し、いかに学生の発達支援に当たればいいのか、教育心理学等の知見を踏まえながら学びます。

岡田有司(東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授)

[W-01] 院生○ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#19

発達障害学生の実態の理解と
支援の取り組み

11/22(水) 午後開催予定

発達障害のあらわれ方は学生によって様々であり、彼らに対する理解が十分に進んでいるとは言えない現状にあります。本セミナーでは、発達障害学生の実態把握や支援に携わってきた2名の専門家にご登壇いただき、具体的な研究や事例等を踏まえながら、発達障害にどのように向き合っていけばよいかについて考えていきます。

都筑学(中央大学 教授) | 篠田直子(信州大学 助教)

[W-01,02] 院生△ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#20

健康科学セミナー(4回シリーズ)

10-1月開催予定

最近の健康科学の進歩は目覚ましく、その進歩を踏まえた健康科学の概略を知ることが「健康な生活習慣形成の指導」を教員が行うために必須です。本セミナーでは、健康科学全般からのトピックス、学生・教員を脅かす疾患を中心に計4回の講演を予定しています。

[W-04] 院生○ | 新任◎ | 中堅・リーダー◎ | 職員○

#21

SDP

若手職員のための大学職員論(8)

6月開催予定

今日、教員と共に学生の学びを支援する職員自身も、主体的に学び、自らの能力を高め、キャリアを形成していく力が必須です。本セミナーでは、大学の今後を担う若手・中堅職員が、ひととき現場を離れ、大学の垣根を超えて他大学職員と共に省察や議論を行う中でさらに成長していくきっかけを提供します。

[M-02] 院生△ | 新任△ | 中堅・リーダー△ | 職員◎

#22

SDPシリーズ

第1回 大学の質保証のための
IR・評価マネジメント

7月開催予定

認証評価や法人評価への対応にとどまらず、大学教育の改善や学修成果の向上等のインパクトに繋がる「内部質保証」、並びに、教育研究等に係る情報の収集・分析により大学運営の計画・実施・評価に係る意思決定を支援する「IR」について、国内外のグッドプラクティスを参照しつつ、体制構築や実践技法の習得を目指します。

森雅生(東京工業大学 教授)

杉本和弘(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)

大森不二雄(同教授)

[M-02,03] 院生△ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#23

LAD

私立大学のガバナンス

8/4(金) 13:00-15:00

18歳人口の減少を背景に日本の4割強の私立大学が定員割れを起こし、私立大学の統合を含めた議論も展開されています。特に地方所在の中小私立大学の経営が厳しさを増し、ガバナンスの強化・高度化が必要になっています。新規の取組みで注目を集める私立大学の経験を踏まえ、私立大学ガバナンスの可能性と課題を考えます。

大森昭夫(共愛学園前橋国際大学 学長)

[M-02] 院生△ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#24

LAD

公立大学のガバナンス

8/4(金) 15:30-17:30

地方創生が政策課題となる中、地方貢献を使命とする大学には、地域ニーズに資する教育研究、産学協同が期待されています。しかし、地方公共団体との関係を前提に大学運営を行う公立大学のガバナンスは特有の難しさを抱えてもいます。私立大学からの移管も進む公立大学に求められるガバナンスのあり方について学びます。

清水一彦(山梨県立大学 理事長・学長)

[M-01] 院生△ | 新任◎ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#25

LAD

データの分析・解釈の技法

8/6(日) 13:00-17:00

高等教育をめぐる事象が多様化するなか、教育改善や意思決定に関わる人材には、関連する情報やデータを整理し、できる限り客観的に解釈できる基礎的素養が必要になっています。本セミナーでは、ワークショップを通して、データを分析し解釈するためのベーシックな技法の習得を目指します。

串本剛(東北大学高度教養教育・学生支援機構 准教授)

松河秀哉(同講師)

[M-01] 院生△ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#26

SDP

SDPシリーズ

第2回 大学の研究戦略マネジメント

9月開催予定

研究は新たな知的成果を生み出し、教育などの使命を実現する、大学の価値創造の起点です。研究をめぐる競争が研究不正を引き起こしたり、遺伝子研究のように規制を加えなければならない分野もあります。研究のない大学はありません。現代の大学は研究をどのように推進すべきかを考えます。

小林信一(放送大学 客員教授)

林隆之(大学改革支援・学位授与機構 教授)

羽田貴史(東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授)

[M-01,02] 院生△ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員◎

#27

IDE大学セミナー

11/20(月) 13:00-17:30

このセミナーは、大学教育に関心を有する国公私立大学等の教職員を主な対象として、当面する諸課題について情報共有及び検討を行い、各機関において教育・学生指導の改善・充実を図ることを目的としています。

[M-01] 院生△ | 新任○ | 中堅・リーダー◎ | 職員○

#28

LQD

組織のパフォーマンスを向上させる
マネジメント

12/22(金) 13:00-17:10

組織パフォーマンスを高めるためには組織マネジメントが欠かせません。組織は人間が結びついて目的を達成するためのものであり、ビジョンの共有、同じ目標のもとで分担しながらの活動、動機づけや信頼感、相互コミュニケーション等が重要となります。組織を有機的に機能させる方策について様々な事例を基に考えます。

藤本雅彦(東北大学経済学研究科 教授)

[M-02] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

#29

LQD

教学IRの手法

12/23(土) 10:00-12:00

学生による授業評価をはじめ、学生の生活実態調査、達成度調査、卒業生・雇用者に対する満足度調査など様々な形態での情報・データの収集・分析を行うことができるIRですが、日本の大学におけるIRは漸く市民権を得始めたところです。本セミナーでは、特に教学マネジ

メントや意思決定に資するIRの手法とその有効活用について学びます。

浅野茂(山形大学 教授)

[M-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

#30

LQD

世界における高等教育の
質保証の到達点と課題

12/23(土) 13:00-15:00

2000年代以降、世界的に高等教育質保証の制度化や実践の多様化が急速に進み、国家的枠組みに止まらず、近年、欧州やアジア太平洋地域等では地域的枠組みも発達してきています。特に欧州のチューニングでは専門分野別に学習成果に基づく質保証の実践が展開されています。そうした到達点と今後の課題について考えます。

深堀聰子(国立教育政策研究所 高等教育研究部長)

[M-03] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

#31

LQD

大学における研究政策と課題

2/17(土) 13:00-15:00

研究は大学における中核的な活動ですが、近年、急速に容容しています。基礎、応用中心の研究から開発研究や産学連携など新たな研究ニーズが出現し、公共財としての研究から私的材としての性格も強くなっています。多様な社会的需要と大学の使命を調和した研究戦略はどうあるかについて論じます。

玉井克哉(東京大学 教授)

[M-01] 院生 △ | 新任 ○ | 中堅・リーダー ○ | 職員 ○

#32

SDP

若手職員のための大学職員論(9)

3月開催予定

今日、教員と共に学生の学びを支援する職員自身も、主体的に学び、自らの能力を高め、キャリアを形成していく力が必須です。本セミナーでは、大学の今後を担う若手・中堅職員が、ひととき現場を離れ、大学の垣根を超えて他大学職員と共に省察や議論を行う中でさらに成長していくきっかけを提供します。

[M-02] 院生 △ | 新任 △ | 中堅・リーダー △ | 職員 ○

大学教育支援センター(CPD)

大学教育支援センター (Center for Professional Development; CPD)は、高度教養教育・学生支援機構が教育関係共同利用拠点としての役割を果たすために設けられた業務センターです。

本機構は、2010年3月に文部科学省より教育関係共同利用拠点*として認定を受け、第1期(2010-2014年度)は「国際連携を活用した大学教育力開発の支援拠点」として、国際連携を活用した海外の最先端プログラムの導入を基本に、①教員の能力の構造化とキャリア・ステージに対応したプログラムの開発・提供、②教職協働を進める職員開発、③教育改革を進める中核人材の育成、の3つのコンセプトに基づき、様々な取り組みを行いました。

現在は、第2期(2015-2020年度)「知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点——大学教員のキャリア成長を支える日本版SoTLの開発」として新たな認定を受け、活動しています。

*教育関係共同利用拠点：社会と学生のニーズに応え、質の高い教育を提供するため、大学の人的・物質的資源を共同利用し、他の国公私立大学との連携を進め、高度な教育を展開していく制度で、2009年に文部科学省が創設しました。本機構は、全国で12の大学の教職員の組織的な研修等の実施機関として認定されています。

第2期拠点事業「知識基盤社会を担う専門教育指導力育成拠点——大学教員のキャリア成長を支える日本版SoTLの開発」

第2期(2015-2020年度)では、第1期のプログラムに加え、新たに「専門教育指導力育成」をめざしています。教員は、個々の授業をスムーズに遂行する能力だけでなく、学生の学習メカニズムや教授＝学習過程の理解、専門分野における最先端の研究成果をカリキュラムに構造化し、授業科目に反映させ、学生の理解を促進させる教材・教育方法を進める専門教育指導力の形成が重要となります。いわば、高等教育における教科教育の構築が必要であり、英米圏の大学においては、一般的な大学教員の授業力ではなく、教科内容の教材化などScholarship of Teaching and Learning(SoTL)として推進されています。わが国でも早急な導入と定着が求められます。世界的に教員の教育力は専門分野の指導力として重視されており、拠点第2期の新しい取り組みとして、専門教育指導力育成プログラム(DTP)の開発・実施に取り組んでいます。

スタッフ紹介



センター長:羽田貴史[高度教養教育・学生支援機構 教授]

専門:大学史、大学経営論、高等教育論

研究テーマ:大学教員の能力開発、学問的誠実性研究



副センター長:大森不二雄[高度教養教育・学生支援機構 教授]

専門:教育社会学、教育政策、高等教育

研究テーマ:教育の質保証、大学経営と人材、国境を越える高等教育



岡田有司[高度教養教育・学生支援機構 准教授]

専門:教育心理学

研究テーマ:大学・学校生活を通じた発達、学校適応、発達障害



今野文子[高度教養教育・学生支援機構 講師]

専門:教育工学

研究テーマ:授業リフレクション、大学教員による授業設計



杉本和弘[高度教養教育・学生支援機構 教授(兼務)]

専門:比較教育学、高等教育論

研究テーマ:オセアニア地域の高等教育政策、質保証、国際教育

研究開発員——北原良夫(東北大学高度教養教育・学生支援機構教授) | 佐藤勢紀子(同機構教授) | ENSLEN Todd(同機構講師) | EICHHORST Daniel(同機構講師) | 張立波(同機構講師) | 趙秀敏(同機構講師) | 足立佳奈(同機構助手) | 川面きよ(同機構特任講師) | 三石大(東北大学教育情報基盤センター准教授) | 邑本俊亮(東北大学災害科学国際研究所教授)

共同研究員——佐保紀仁(東北医科薬科大学講師) | 丸山和昭(名古屋大学准教授) | 鳥居朋子(立命館大学教授) | 川井一枝(宮城大学准教授) | 中島夏子(東北工業大学准教授) | 鈴木学(福島大学特任准教授) | Sophie Arkoudis(メルボルン大学准教授) | Chi Baik(メルボルン大学講師) | Linda von Hoene(カリフォルニア大学バークレー校教授) | Andy Leger(クイーンズ大学准教授)

共同利用運営委員会委員——羽田貴史(高度教養教育・学生支援機構教授、大学教育支援センター長) | 安藤晃(同機構副機構長、工学研究科教授) | 大森不二雄(同機構教授、大学教育支援センター副センター長) | 杉本和弘(同機構教授) | 岡田有司(同機構准教授) | 中村敦博(同機構教授) | 静谷啓樹(教育情報基盤センター教授) | 榊原暢久(芝浦工業大学教授) | 合田隆史(尚学院大学学長) | 川井一枝(宮城大学准教授) | 吉武博通(首都大学東京理事) | 夏目達也(名古屋大学教授) | 岩野雅子(山口県立大学副学長)

専門性開発プログラム 動画配信サイト

www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/PDPonline

変化する高等教育に 追いつき追い越すための オンライン学習

東北大学高度教養教育・学生支援機構で実施している専門性開発プログラムの様子を動画配信しています。視聴に際して登録や受講料などは必要ありません。だれでも、いつでも、どこでも、オンライン学習が可能です。

- 機関での利用をご希望の場合は、「機関利用申請書」の提出をお願いします。詳細はPDPonlineウェブページをご覧ください。



L Literacy



- 世界の高等教育政策 | 講師—杉本和弘
- 歴史から見た大学 | 講師—寺崎昌男
- 授業デザインとシラバス作成 | 講師—串本剛
- 授業づくり: 準備と運営 | 講師—邑本俊亮

S Specialty



- コーチング技能を活用した院生指導
講師—出江紳一
- Classroom English | 講師—Vincent Scura
- 体育を通して見る人間教育
講師—木原成一郎 ほか

W Health & Welfare



- 大学教育と青年期発達 | 講師—鈴木敏明
- 発達障害学生支援の現状と法が求める合理的配慮
講師—青野透

M Management



- 大学カリキュラムの構造と編成原理 | 講師—吉田文
- 私立大学のガバナンスの課題と展望
講師—合田隆史
- 国立大学のガバナンスとリーダーシップ
講師—吉武博通

刊行物のご紹介



PDブックレット Vol.1
すてきな大学教員をめざす
あなたに
[2011.7月刊行]



PDブックレット Vol.2
大学の授業を運営するために
[2012.3月刊行]



PDブックレット Vol.3
学生のための心理・教育的支援
[2012.6月刊行]
●在庫なし。CPDのHPからダウンロード可。



PDブックレット Vol.4
ER@TU——多読のすすめ
[2013.3月刊行]



PDブックレット Vol.5
高等教育における
教育・学習のリーダーシップ
[2014.3月刊行]



PDブックレット Vol.6
大学教員のブレーク・スルー
[2015.2月刊行]



PDブックレット Vol.7
ディスカッションが
英語授業を変える
[2016.3月刊行]



PDブックレット Vol.8
授業参観のすすめ
[2017.3月刊行]



もっと知りたい大学教員の仕事
大学を理解するための12章
羽田貴史 編著 | ナカニシヤ出版
[2015.12月発行]

